

表C.1-マンホール蓋の設置要領の設定例

区分	種類	性能	適用場所		
標準型	荷重区分	T-25	・車両総重量25tの活荷重に対応する荷重強さを持つもの。	道路一般。 特に初動幅員が5.5m以上の道路。ただし、車道幅員5.5m未満であっても、一方通行道路等で、大型車の通行があり交通量の多い道路と拡幅計画道路を含む。	
		T-14	・車両総重量14tの活荷重に対応する荷重強さを持つもの。	歩道又は大型車の通行の少ない道路（車道幅員が5.5m未満の道路）	
	付加性能	不法開放防止性能	・所定の専用工具以外で、容易に開放されないよう、鍵を備えた構造のもの。	下水道管路全般。	
		内圧安全性	圧力解放耐揚圧性	・蓋の圧力解放耐揚圧性をもつもの。	下水道管路全般で、内圧により蓋浮上の危険性の高い場所。ただし、内圧の大きい場所は、格子蓋又は排気口で対応する。
			転落防止性	・人の転落防止をできる荷重強さをもつもの。 ・浮上防止のために内圧に対するロック機能をもつもの。 ・耐揚圧荷重強さをもつもの。	維持管理時に安全確保が必要な場所。 ・労働安全衛生規則で高所作業となり、昇降時に安全性の確保が必要な人孔深2m以上のマンホール。 ・点検頻度が多いマンホール。 (腐食のおそれが高い箇所など) 浸水被害地区の安全確保が必要な場所。 ・蓋浮上の危険性が高いマンホール。 ・浸水被害が生じやすい場所。 ・津波被害の恐れがある場所。
特殊型	防水蓋	・蓋かん合部にゴムパッキン等を取り付ける構造で、外部からの防止性をもつもの。図C.1を参照。	機会電気設備に影響を及ぼすおそれにある場所。 ・ポンプ室、弁室。 水質管理が必要な場所。 ・貯水槽。		
	耐圧蓋	・蓋かん合部にゴムパッキン等を取り付け、ボルトにて蓋を固定し耐内圧性をもつもの。 ・規定内圧内で内部からの漏水が少ないもの。図C.2を参照。	外水位の影響によって浸水のおそれが高い低地の分流雨水管及び合流管。 流下能力が不足する分流雨水及び合流管、並びに（溢）水のおそれのある分流污水管及び合流管で内圧が作用する場所。ただし、内圧の大きい場所は、排気口で対応する。		
	格子蓋	中蓋	・蓋に格子状にした開口を設け、内部からのガスや水を排出するもの。 ・合流管においては、商店街や住宅密集地区等の臭気対策が必要場所には中蓋を取り付けることができるもの。図C.3を参照。	分流雨水管又は合流管において、内部からの水及び空気の排出を行いたい場所。	
		滑り防止蓋	蓋表面に独立した凸形状が適切に配列され、雨天時の2輪車の滑り防止性を高めたもの。	車窓全般。特に交差点、カーブ、及び坂道に設置するもの。踏切手前に設置されているもの。	
	防食蓋	・温泉地の水質が腐食環境又は管路構造上の腐食環境に対して防食被膜を施したもの。	温泉地及び管路構造上の腐食環境下（高温・腐食雰囲気、圧送管吐出し先、ビルピットの排水先、伏越し下部、落差・段差のあるマンホールなど）。		
	除雪車対応蓋	・枠の上面外側にスロープを設け、除雪車のブレードが衝突した際に衝撃を緩和させたもの。図C.4を参照。	積雪の多い地域で除雪車によって除雪を行う道路。		

出典：「JIS A 5506：2018」の「附属書C（参考）マンホール蓋の設置要領」